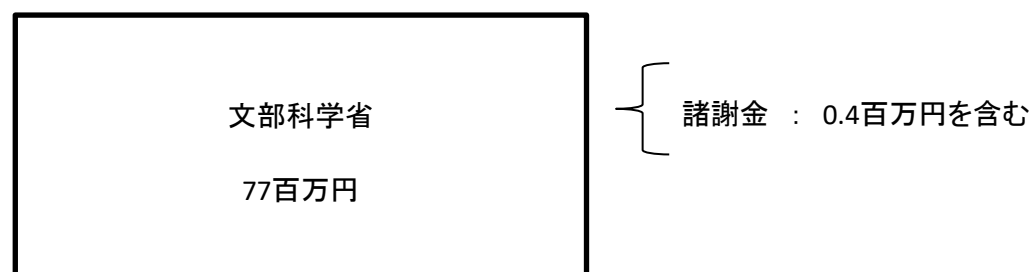


令和5年度行政事業レビューシート				（文部科学省）			
事業名	リカレント教育の社会実装に向けた調査研究・普及啓発パッケージ事業			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	生涯学習推進課		生涯学習推進課長 石橋 晶
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定) 科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定) 教育未来創造会議(第1次提言)(令和4年5月10日)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	大学等におけるリカレント教育の効果を提示し、個人の学び直しや企業の人材育成に関する機運を高めるとともに、成果についても広く社会に対してプロモーションし、リカレント教育の重要性について普及啓発を図る。併せて、個人や企業の属性に応じた学習ニーズや期待される効果を把握し、今後の大学等を活用したリカレント教育に関する取組をより実効性の高いものにする。						
現状・課題 (5行程度以内)	大学等におけるリカレント教育のさらなる推進にあたっては、学習成果の可視化やその発信が重要な論点であり、科学技術・イノベーション基本計画をはじめ、教育効果や社会への影響を評価できる指標開発が求められている。一方で、リカレント教育によって得られる成果は体系的な調査結果やデータ等として明らかにはなっておらず、企業等への処遇反映などにも学び直しの成果が活かされていないのが現状である。(社会人学生の46.6%は大学等で修学したことの評価を職場に求めている一方で、大学等の修了資格を得た者を評価する企業は17.0%と乖離がある、イノベーション・デザイン&テクノロジーズ株式会社「社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究」(平成27年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業)より)。						
事業概要 (5行程度以内)	大学等におけるリカレント教育を受講した社会人について、どのような能力・スキルがどの程度向上したか、また所属する企業等にどういった影響を及ぼしたかを把握する調査を実施し、当該調査結果を踏まえ、リカレント教育の効果や社会への影響を客観的に分析し、評価できる指標を開発するとともに、大学等におけるリカレント教育がもたらす効果を周知・普及啓発し、社会にリカレント教育の重要性をより一層根付かせる。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/manabinaoshi/mext_00007.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	-
		補正予算(B)	-	-	77	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	77	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲ 77	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	77	-	
	執行額(G)		-	-	-		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	-			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		リカレント教育を受講した結果、個人の能力・スキル向上についてどういった成果があり、社会にどのような影響を及ぼしたか、調査分析を行うとともに、学習効果を客観的に測定できる指標を開発する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		調査分析のために、大学等や社会人、企業等にアンケートやヒアリング等を実施する	調査分析にあたって実施したアンケート、ヒアリング等の回数	活動実績	－	－	－	－	－	－
				当初見込み	－	－	－	－	20	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	アンケートやヒアリング等を重ねた結果、調査分析に活用できる、統計的に有意な回答数を集約。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		可能な限り信頼性の高い調査結果とするため、一定以上の有効回答数を確保する	調査回答件数(リカレント教育プログラム受講生数、大学等数、企業等数)	成果実績	件	－	－	－	－	
				目標値	件	－	－	－	12,000	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「リカレント教育の社会実装に向けた調査研究・普及啓発パッケージ事業」の事業報告書、委託事業者との打合せ等								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	調査回答等の結果を踏まえ、大学等におけるリカレント教育を通じた学習成果や社会への影響について、客観的・多面的考察が加えられた分析が実施可能になる。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		リカレント教育の効果について、その意義を明示できるよう多面的に把握する	調査分析の結果として纏めるレポートにおいて、リカレント教育の効果として提示する項目数	成果実績	項目	－	－	－	－	
				目標値	項目	－	－	－	20	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「リカレント教育の社会実装に向けた調査研究・普及啓発パッケージ事業」の事業報告書、委託事業者との打合せ等								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	調査分析の結果、大学等におけるリカレント教育の効果を継続的に観測、測定できる客観的指標の開発に繋がる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		リカレント教育を受講した学習成果や社会への影響を客観的に示す手法を開発し、リカレント教育プログラムの有用性を周知する際の材料とする	リカレント教育の効果を測定するものとして考案された指標数	成果実績	個	－	－	－	－	
				目標値	個	－	－	－	10	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「リカレント教育の社会実装に向けた調査研究・普及啓発パッケージ事業」の事業報告書、委託事業者との打合せ等								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		リカレント教育効果に関する調査分析結果や開発された指標を大学・企業等に周知・普及させ、リカレント教育の重要性に関する認知向上に役立てるとともに、従業員の学び直しに注力する企業等を増やすことで、大学等におけるリカレント教育を一層推進する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		多くの大学等や企業等に対して、リカレント教育効果に関する調査分析結果や効果測定のための指標を周知する	調査分析結果や指標の周知数(大学等、企業・経済団体等)	活動実績	件	－	－	－	－	－
				当初見込み	件	－	－	－	1,000	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	周知を受けた企業等が、大学等におけるリカレント教育に関して意識変化を起こす。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		調査分析結果から企業等がリカレント教育効果に関する知見を深め、自社の人材育成における大学等の活用に対しても関心を高める	大学等におけるリカレント教育への関心が高まったと回答する企業等の割合	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	70	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「リカレント教育の社会実装に向けた調査研究・普及啓発パッケージ事業」の事業報告書、委託事業者との打合せ等								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	大学等を活用した人材育成に関心を高めた企業等が、従業員を大学等のリカレント教育プログラムに積極的に派遣するなどの行動変化を起こす。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 10 年度	
		自社の従業員の人材育成として、社内研修等既存の取組に加えて、大学等における一定期間の学び直しに対する支援を行う企業等を増やす	過去5年以内で、大学等に送り出した実績のある企業等の割合	成果実績	%	8.8	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	20	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		株式会社野村総合研究所「大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築に関する調査研究」(2021年3月)								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	企業から大学等への送り出しが増えた結果、大学等におけるリカレント教育プログラムの活用も増加。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		大学等における社会人向けプログラムへのニーズが高まり、プログラム開発が促進される	大学等におけるリカレント教育プログラムの開発・提供数	成果実績	プログラム	－	－	－		
				目標値	プログラム	－	－	－	10,000	
				達成度	%	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」(令和5年度以降、調査開始)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



A.民間企業等	76.6百万円
---------	---------

- ・調査分析
- ・指標開発
- ・普及啓発

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載）	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
	計			計		
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載			チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-	一般競争契約 (総合評価)	5	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	